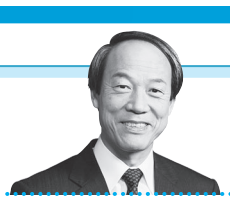
広報 みなと 2.21
平成23年(2011年)

財政課 ☎ 3578−2111(代)
内 線 2103
FAX 3578−2975(財政課)
http://www.city.minato.tokyo.jp

平成23年度
予算特集号

平成23年度 予算案が決まりました



港区長 武井 雅昭

景気は、失業率が未だに高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。こうした状況を踏まえ、平成23年度予算案は、社会経済情勢はもとより、国や東京都の動向を的確に把握し、今後の区政運営への影響を確実に見極めた上で、区民福祉のさらなる向上を目指し、積極予算として編成しました。

予算総額は、1,519億2,203万円となりました。

本予算案は、2月23日(水)から開会する平成23年第1回港区議会定例会で審議されます。

平成23年度予算では、長引く景気低迷の影響を受け、区の歳入の根幹を成す特別区民税収入は昨年を上回る大幅な減収となる見込みです。

港区は、これまでいかなる社会経済情勢においても港区ならではの質の高い行政サービスを安定的に提供していくため、計画的に基金を積み立ててきました。

私は、この基金を有効に活用し、平成23年度予算を「区民とともに、現下の厳しさを乗り越え、安心して暮らせる地域社会を築くための予算」として編成しました。

港区基本計画に計上した事業を着実に推進していくことはもちろん、子育て家庭や高齢者と要介護高齢者を支える家族への支援、地域経済を活性化させるための中小企業対策、地球温暖化対策などの重点施策を積極的に進めていきます。

今後も、区民に信頼され区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を基本姿勢とし、「人にやさしい創造的な地域社会」を目指し、「区民の誰もが誇りに思えるまち・港区」の実現に向け、区民の皆さんの期待に応えられるよう取り組んでまいります。

各会計の財政規模

一般会計

予算総額は、1,153億4,000万円で、前年度に比べ68億2,000万円、6.3%の増となります(表)。

〈歳入〉

特別区税は、長引く景気低迷の影響を受けて、平成22年度に比べ66億7,977万5千円、10.6%の大幅な減となりました。繰入金は、公共施設等整備基金や財政調整基金からの繰入れの増等により、99億6,894万5千円、100.9%の大幅な増となりました(グラフ1)。

〈歳出〉

目的別歳出では、総務費が、田町駅東口北地区公共公益施設整備の増などにより11億4,013万円、5.1%の増となりました。民生費は、子ども中高生プラザ等の建設、子ども手当、生活保護等の増加に伴い72億261万1千円、19.4%の増となりました。衛生費は、みなと保健所改築などにより40億750万1千円、91.7%の増となりました。産業経済費は、芝五丁目用地取得の増などにより12億6,328万4千円、41.3%の増となりました。土木費は、平成22年度のシティハイツ六本木等用地取得の減などにより15億7,680万円、10.7%の減となりました。教育費は、平成22年度の芝浦小学校等改築の減などにより48億1,135万5千円、28.1%の減となりました。

性質別歳出では、義務的経費の人件費、扶助費、公債費の当初予算額に占める割合は、平成22年度と同じ34.6%ですが、扶助費が生活保護や子ども手当の増などにより26億8,055万2千円、18.7%の増となりました。投資的経費は、田町駅東口北地区公共公益施設整備、子ども中高生プラザ等の建設などにより、46億3,753万円、20.0%の増となりました。その他経費は、融資事業における補助費等が増となったものの、全体としては、1億8,093万2千円、0.4%の減となりました(グラフ2・グラフ3)。

国民健康保険事業会計

保険給付費や共同事業拠出金などが増加したため、平成22年度に比べ11億8,622万6千円、6.1%増加し、207億2,022万円となりました(表)。

後期高齢者医療会計

保健事業費が減少したものの、広域連合負担金などが増加したため、平成22年度に比べ1億4,545万6千円、3.6%増加し、41億3,406万9千円となりました(表)。

介護保険会計

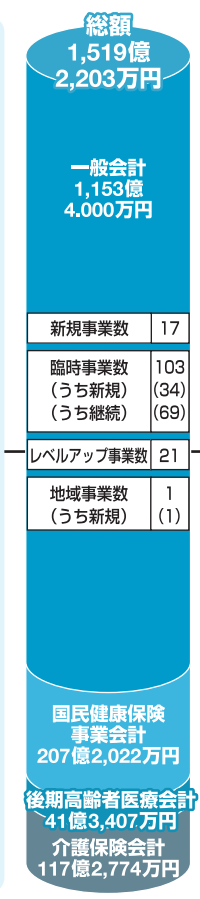
第4期介護保険事業計画における保険給付費の推計等により、平成22年度に比べ4億3,784万8千円、3.9%増加し、117億2,773万6千円となりました(表)。

平成23年度予算の概要(全体像)

「区民とともに、現下の厳しさを乗り越え、安心して暮らせる地域社会を築くための予算」

予算編成の基本方針

1. 区民の参画と協働の積極的な取り組みにより、各種事業が、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう、区民生活の実情を的確に把握し、区民の視点に立ってさらなる創意工夫を図っていくことで、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していきます。
2. 新規事業については、事業の必要性・効果性・効率性を見極め、試行実施する事務事業評価制度に基づき中期的な事業目標を明確にした上で、予算化していきます。また、すべての既存事業について、事業目標に沿って適切に実施されているか、あらためて必要性・効果性・効率性の観点から精査し、統廃合や事業手法の見直しを行うことで事業の再構築を進め、より優先度・重要度の高い事業を重点的に予算化していきます。
3. 港区基本計画に計上した事業を効果的かつ着実に推進できるよう予算化していきます。
4. 区民の安全・安心の確保を最優先事項とし、区有施設の管理運営や各種行政サービスの提供における安全・安心の確保策に引き続き取り組んでいきます。
5. 今後のいかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を将来にわたり安定的に推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、後年度負担にも十分考慮するとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底していきます。



最重点施策

1 誰もが未来に向かって夢と希望を持てるまち

❶子どもを安心して生み育てられる環境づくり
❷高齢者も障害者も安心できる暮らしの実現
❸区民の健康増進と医療の充実
❹魅力ある教育の推進
❺就労支援の充実

2 地球にやさしく安全・安心で快適に暮らせるまち

❶地球にやさしい都心環境施策の推進
❷災害に強いまちづくり
❸快適な暮らしを支えるまちづくり

3 都心の魅力と活力があふれるまち

❶地域経済の活性化
❷参画と協働により地域の特性を生かしたまちづくり
❸多様な文化やスポーツにふれあう環境の創出

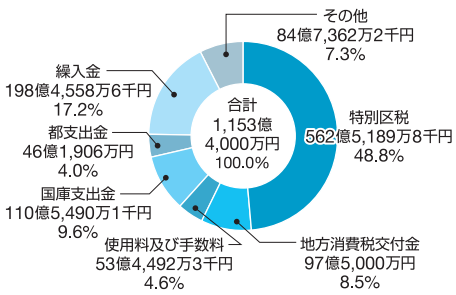
表 各会計の財政規模

(単位:千円、%)

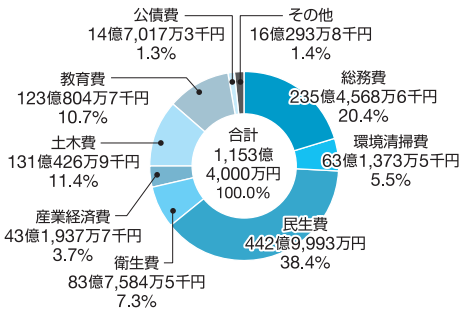
区分	平成23年度 当初予算額	平成23年度 構成比	平成22年度 当初予算額	平成22年度 構成比	対前年度比較 増減額	対前年度比較 増減率
一般会計	115,340,000	75.9	108,520,000	75.7	6,820,000	6.3
国民健康保険事業会計	20,720,220	13.6	19,533,994	13.6	1,186,226	6.1
後期高齢者医療会計	4,134,069	2.7	3,988,613	2.8	145,456	3.6
介護保険会計	11,727,736	7.7	11,289,888	7.9	437,848	3.9
(老人保健医療会計)	0	−	38,914	0.0	△38,914	皆減
合計	151,922,025	100.0	143,371,409	100.0	8,550,616	6.0

※老人保健医療会計は、平成22年度をもって廃止となります。

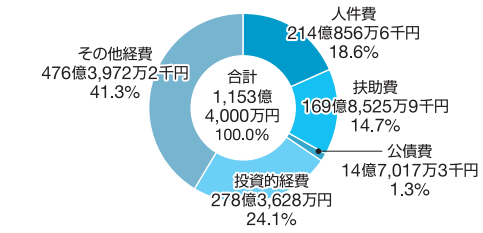
グラフ1 一般会計 歳入 予算額



グラフ2 一般会計 歳出 目的別予算額



グラフ3 一般会計 歳出 性質別予算額



※計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計などと一致しない場合があります。

港区基本計画事業の着実な推進

分野別計画	◆かがやくまち(街づくり・環境)	32事業	74億5,452万円
	◆にぎわうまち(コミュニティ・産業)	9事業	15億6,989万円
	◆はぐくむまち(福祉・保健・教育)	30事業	142億7,075万円
地区版計画書	芝地区版計画書	12事業	5,906万円
	麻布地区版計画書	11事業	4,520万円
	赤坂地区版計画書	6事業	5,351万円
	高輪地区版計画書	10事業	4,786万円
	芝浦港南地区版計画書	9事業	3,888万円
	◆実現をめざして	6事業	5億1,775万円
計		125事業	240億5,742万円

将来を見据えた財政運営

厳しい社会経済情勢は当面続くことが予想されますが、このような状況においても、区民の誰もが日々の生活を健康で安心して過ごすことができるよう、優先度・重要度の高い施策を推進する積極予算として編成しました。

歳入の根幹を成す特別区民税収入は、長引く景気低迷の影響を受け平成23年度予算においては、平成21年度決算と比較して約100億円の減収となる見込みです。

このような中、すべての事務事業について、統廃合や事業手法の見直しを行い、事業の再構築を進めるとともに、経常的経費の節減等に積極的に取り組むなど、内部努力を徹底しました。引き続き、歳入の確保に努めるとともに、簡素で効率的な区政運営を行い、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点に立った財政運営を行っていきます。

平成23年度 最重点施策

新　規　23年度から新たに行う事業
臨時(新規)　23年度から新たに行う臨時的な事業(※)
臨時(継続)　22年度以前から行っている臨時的な事業(※)
※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ　22年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業
(予算額はレベルアップ部分を含めた事業全体の金額)

1 誰もが未来に向かって夢と希望を持てるまち

❶子どもを安心して生み育てられる環境づくり

高輪子ども中高生プラザ管理運営　新　規
5,720万円

高輪一丁目用地に、乳幼児から中高生までの幅広いニーズに対応する機能を備えた高輪子ども中高生プラザを開設します。

麻布保育園等建設　臨時(新規)
4,918万円

六本木五丁目用地に、麻布保育園等を建設するため、基本構想、基本計画、基本設計および実施設計を行います。

緊急暫定学童クラブ　臨時(新規)
1,841万円

高輪子ども中高生プラザの開設までの間、学童クラブ児童の受け入れのため、高輪三丁目において、学童クラブ事業を暫定実施します。

私立認可保育所設置支援事業　臨時(新規)
1億1,005万円

短期間で開設可能な事務所ビルや小学校内に認可保育所を設置・運営する事業者に対し、施設改修費および施設賃借料の一部を補助します。

芝地区子ども中高生プラザ等建設　臨時(継続)
32億7,277万円

浜松町一丁目の旧神明運動広場において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

芝公園保育園等改築　臨時(継続)
3,069万円

芝公園保育園等改築のため、実施設計を行います。

麻布地区子ども中高生プラザ等建設　臨時(継続)
5億4,467万円

南麻布四丁目用地において、子ども中高生プラザ等の実施設計および建設工事を行います。

高輪子ども中高生プラザ等建設　臨時(継続)
9億5,346万円

高輪一丁目用地において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

(仮称)三田四丁目保育園建設　臨時(継続)
2億4,023万円

三田四丁目用地において、現在の志田町保育園を移設整備するため、実施設計および建設工事を行います。

芝浦港南地区子ども中高生プラザ等建設　臨時(継続)
5億6,872万円

港南四丁目において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

待機児童解消特別事業　臨時(継続)
17億4,172万円

急増する認可保育園への入園希望に対応するため、緊急暫定保育施設を１カ所増設するとともに、３既存施設についても定員を拡大します。

児童遊園整備　臨時(継続)
5,490万円

地域の特性に合った安全で快適な児童遊園を整備します。

子ども手当　レベルアップ
42億1,665万円

３歳未満の児童に対する支給額を、現在の月額１万3,000円から２万円に増額します。

乳幼児一時預かり事業　レベルアップ
1,967万円

みなとほっとルーム(港区スポーツセンター内)で行っている乳幼児一時預かり事業を日曜・祝日も実施します。

子ども家庭支援センター運営　レベルアップ
3,087万円

複雑化・深刻化する児童虐待に関する相談に、適切かつ迅速に対応するため、子ども家庭支援センターの職員体制を強化するとともに、臨床心理士による心理専門相談を実施します。

❷高齢者も障害者も安心できる暮らしの実現

認知症高齢者介護家族支援事業　新　規
1,014万円

認知症の症状が見られる場合や認知症特有の症状により、在宅で介護をする家族に休養が必要になった場合、短期間、認知症高齢者を施設に受け入れることにより、介護する家族の負担を軽減し、認知症高齢者が在宅で生活を続けられるよう支援します。

港区版宿泊デイサービス事業　新　規
1,519万円

在宅で介護する家族の負担軽減のため、利用者ニーズの高い宿泊付きのデイサービスを、区独自に試行実施します。

ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業　新　規
3,287万円

各地区に配置する相談員が、地域に出向き、町会・自治会、民生委員等の地域のネットワークや総合支所、地域包括支援センターと連携し、ひとり暮らし高齢者等の生活実態の把握や必要な支援サービスの相談を実施します。

24時間対応定期巡回等訪問介護サービス事業　新　規
2,000万円

居宅要介護者に対し、介護と看護の連携の下で24時間対応で短時間の定期巡回サービスと通報システムによる随時対応サービスをモデル事業として実施します。

発達支援センター事業　新　規
684万円

発達障害者(児)に対して早期発見・早期対応が可能な体制を構築するために、区内の保育園、児童館や保健所等関連機関との連携を強化し、センター機能を確立します。

区立公衆浴場維持補修　臨時(新規)
1,671万円

耐用年数の経過により、老朽化した公衆浴場「ふれあいの湯」のＧＨＰエアコン機器等の更新工事を行います。

全国在宅障害児・者実態調査　臨時(新規)
51万円

国が実施する委託調査で、在宅障害児・者の障害種別・程度・原因、日常生活の状況、障害別ニーズ等について調査します。

みなと障がい者福祉事業団支援事業　臨時(新規)
350万円

みなと障がい者福祉事業団に対し、経営コンサルタントを派遣し、トロア、カフェ・ドゥー等の収益改善を図ります。

西麻布いきいきプラザ等改築　臨時(継続)
3億1,275万円

西麻布いきいきプラザ等の実施設計等を行います。

地域保健福祉計画改定　臨時(継続)
2,260万円

平成21年度から平成26年度までの地域保健福祉計画の後期の見直しを行います。

高齢者保健福祉計画改定　臨時(継続)
1,246万円

平成21年度から平成26年度までの高齢者保健福祉計画の後期の見直しを行います。また、第５期港区介護保険事業計画(平成24年度～26年度)を策定します。

特別養護老人ホーム白金の森改修　臨時(継続)
7億7,868万円

施設の老朽化が進んでいる特別養護老人ホーム白金の森の改修工事を実施します。

障害者計画改定　臨時(継続)
753万円

平成21年度から平成26年度までの障害者計画の後期の見直しを行います。また、第３期障害福祉計画(平成24年度～26年度)を策定します。

いきいきプラザ(15館)介護予防事業　レベルアップ
1億32万円

高齢者が要支援・要介護にならないために介護予防事業の実施施設を拡大するとともに、実施回数を増やし、充実を図ります。

障害者(児)入浴サービス　レベルアップ
1,667万円

重度障害者(児)の施設入浴サービスの実施施設を拡大し、事業の充実を図ります。

障害者サービス提供事業　レベルアップ
4,666万円

障害者の日中活動サービスに対する補助制度を一体的で整合性のとれたものへ再構築します。

障害者(児)福祉タクシー助成　レベルアップ
1億130万円

外出困難な障害者(児)の経済的負担の軽減を図り、障害者の日常の行動範囲を広げるため、助成対象を拡大します。

❸区民の健康増進と医療の充実

ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・子宮頸がん予防ワクチン予防接種事業　新　規
3億3,780万円

ヒブ(インフルエンザ菌ｂ型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンおよび子宮頸がん予防ワクチン予防接種を、全額区の負担で実施します。

障害者(児)歯科保健普及研修事業　新　規
174万円

障害者(児)が、住み慣れた地域で安心して歯科診療が受けられるよう、区内歯科医療機関の歯科医を対象に、障害者(児)歯科医療に必要な知識を習得するための研修会を実施します。

(社福)恩賜財団母子愛育会附属愛育病院建設支援　臨時(新規)
6億720万円

周産期医療・小児医療の充実を図るため、田町駅東口北地区に整備する愛育病院の建設費の一部を補助します。

みなと保健所改築　臨時(継続)
33億4,187万円

現在の生活衛生センターと保健サービスセンターとを統合し、地域保健の拠点となる保健所の建設工事を行います。

暫定健診施設維持管理　臨時(継続)
5,966万円

保健サービスセンターが改築のため、三田三丁目において暫定の健診施設を運営します。

在宅緩和ケア支援　臨時(継続)
1,021万円

がん患者およびその家族が住み慣れた地域で在宅療養を受けられるよう、在宅緩和ケアの支援を推進します。

休日診療　レベルアップ
6,194万円

小児に対する医療不安の解消を図るため、現行の休日診療施設に加え、インフルエンザ等の感染症が流行する冬期に限り、小児対応可能な休日診療施設および処方せん応需薬局を各１カ所増設します。

妊産婦健康診査　レベルアップ
2億927万円

HTLV-1(ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型)の母子感染の拡大を防止するため、妊婦健康診査の検査項目に、HTLV-1抗体検査を追加します。

❹魅力ある教育の推進

私立幼稚園教育環境の充実　新　規
231万円

私立幼稚園での特別支援教育の環境づくりや相談機能の充実を図るため、私立幼稚園に特別支援アドバイザーを派遣するとともに、幼稚園カウンセリングを実施します。

学校図書館支援のための連絡会の設置・運営　新　規
35万円

学校図書館スタッフ等の人材育成および学校図書館と地域図書館との連携を図るため、リーディングアド

バイザリースタッフ等を対象とした研修や学校図書館と地域図書館のスタッフとの情報交換を行う連絡会を設置します。

教育振興プラン改定 臨時（新規）
364万円
教育施策の総合計画である教育振興プランを改定します。

幼児教育振興アクションプログラム改定 臨時（新規）
66万円
幼児教育の一層の充実を図るため、幼児教育振興アクションプログラムを改定します。

朝日中学校仮校舎移転 臨時（新規）
1,103万円
朝日中学校通学区域小中一貫教育校の建設に伴い、朝日中学校を仮校舎（三光小学校）に移転します。

国際学級の試行実施 臨時（継続）
3,858万円
国際学級を設置するため、カリキュラムや教材作成等の準備を行うとともに、小学校（1校）において、一部教科で英語による授業を試行的に実施します。

港南小学校等改築 臨時（継続）
4億7,831万円
港南小・中学校グラウンド整備工事を実施します。

朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設 臨時（継続）
2億2,397万円
朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設のための実施設計および既存校舎解体設計を実施するとともに、朝日中学校の仮校舎となる三光小学校の改修工事を行います。

新教育センター整備 臨時（継続）
1,767万円
新教育センターに整備されるプラネタリウムの実施設計を行います。

私立幼稚園保護者補助金 レベルアップ
3億6,828万円
公私立幼稚園間の保護者負担の較差是正を図るため、区内在住の私立幼稚園園児の保護者に対する補助金を増額します。

私立幼稚園連合会補助金 レベルアップ
924万円
私立幼稚園の教育環境の充実を図るため、私立幼稚園連合会に対する補助金を増額します。

小・中学校情報教育推進 レベルアップ
1億7,625万円
小・中学校（モデル校3校）のテレビに電子黒板として使用する機能を付加し、学習効果等を検証します。

中学校就学援助 レベルアップ
8,668万円
中学校の新学習指導要領で武道が必修となることに伴い、経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、柔道着の購入費を支給します。

放課後児童（健全）育成 レベルアップ
3億8,047万円
放課後に児童が安心して安全に過ごせる居場所づくりとして、新たに赤坂小学校で放課GO→を実施するとともに、東町小学校の放課GO→に学童クラブ機能を加えます。

学力向上事業 レベルアップ
2億700万円
中学校の新学習指導要領で武道が必修となることに伴い、武道の授業に専門指導員を配置します。

心の教育相談 レベルアップ
1,732万円
いじめや不登校、児童虐待などの問題解決を図るため、各校に配置しているスクールカウンセラーに加え、中学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣します。

❺就労支援の充実

障害者チャレンジ雇用 新規
90万円
一般企業等への就職に向けた支援のため、障害者インターンシップ事業の実習を修了した知的障害のある区民を、非常勤嘱託員として雇用します。

臨時観光インフォメーションコーナー運営 臨時（新規）
816万円
緊急雇用創出事業として、区内の周遊観光促進のため、増上寺境内と東京タワー内に臨時観光インフォメーションコーナーを設置します。

精神障害者就労支援事業 臨時（新規）
357万円
精神障害者の社会参加と就労支援を目的とした喫茶コーナーを、平成23年12月開設予定のみなと保健所に設置します。

備品管理業務支援 臨時（新規）
1,124万円
緊急雇用創出事業として、備品をより適正に管理するため、管理備品の点検および備品ラベルの貼替えを行います。

緊急就労支援（就職面接会の開催） 臨時（継続）
3,806万円
ハローワークおよび東京商工会議所港支部との共催による就職面接会を、平成22年度に引き続き開催します。

福祉のしごと面接・相談会 臨時（継続）
28万円
介護に関する資格を有しながら現在介護の現場から離れている潜在的介護人材等と、区内介護事業者を対象とした、面接・相談会を開催します。

介護体験事業 臨時（継続）
24万円
介護職の魅力や介護サービスへの理解を深めるため、介護現場での身体介助等の体験事業を平成22年度に引き続き実施します。

ホームヘルパー2級養成研修受講助成 臨時（継続）
150万円
ホームヘルパー2級資格取得のための受講料の全額助成を平成22年度に引き続き実施します。

港区介護雇用プログラム事業 臨時（継続）
4,693万円
緊急雇用創出事業として、区内の訪問介護事業所において、有期雇用契約の職員を受け入れ、あわせて、介護資格取得を支援する介護雇用プログラムを平成22年度に引き続き実施します。

住宅手当緊急特別措置事業 臨時（継続）
6,944万円
離職者のうち一定の要件を満たす人を対象として、住宅手当の支給と就労に向けた支援を平成22年度に引き続き実施します。

待機児童解消特別事業（緊急暫定保育室運営） 臨時（継続）
3億296万円※
緊急雇用創出事業として、緊急暫定保育室の運営にあたって、新たな雇用を確保します。
※予算額は1－❶の「待機児童解消特別事業」の一部の再掲です。

喫煙マナーアップ啓発 臨時（継続）
5,534万円
緊急雇用創出事業として、みなとタバコルールに基づく路上喫煙防止活動を、平成22年度に引き続き実施します。

緊急不況対策臨時職員雇用（若者向け就業体験） 臨時（継続）
4,642万円
緊急雇用創出事業として、就職の決まっていない若者に就業体験の機会を提供するため、区の臨時職員として雇用し、就職につなげる支援を行います。

遺跡出土遺物の再整理 臨時（継続）
462万円
緊急雇用創出事業として、遺跡出土遺物を再整理します。

2 地球にやさしく安全・安心で快適に暮らせるまち

❶地球にやさしい都心環境施策の推進

みなとモデル森林整備促進（みなとモデル二酸化炭素固定認証） 新規
2,370万円
区内の民間建築物の建築の際に使用された木材の使用量とCO_2固定量を区が認証することで、国産木材の使用によるCO_2の固定と森林整備の促進をめざす「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を創設します。

建築物低炭素化促進 新規
702万円
民間建築物の建築について、区独自の環境配慮の目標を定め、省エネによるCO_2排出量の削減やヒートアイランド対策を促進する「港区建築物低炭素化促進制度」を創設します。

ビルピット臭気対策 新規
125万円
地下排水槽からの排水が原因となって発生するビルピット臭気を改善するため、臭気対策の指導とともに、建築物の所有者に対して、装置購入・工事費に要する経費の一部を補助します。

緑の実態調査 臨時（新規）
3,338万円
港区みどりを守る条例に基づき、緑被の状況等の実態調査を行います。

緑と水の総合計画推進 臨時（継続）
580万円
平成22度に策定した「港区緑と水の総合計画」に掲げる将来像を実現するために、手引書を作成します。

区有施設低炭素化推進 臨時（継続）
1,757万円
区有施設におけるCO_2排出量を削減するため、エネルギー利用の効率化を図る取り組みを実施します。

一般廃棄物処理基本計画策定 臨時（継続）
998万円
清掃事業に関する社会情勢の変化等を踏まえ、一般廃棄物処理基本計画（平成24年度～33年度）を策定します。

資源化センター等機能再編整備 臨時（継続）
3億5,369万円
港資源化センターと芝浦清掃作業所とを再編し、区内で発生する資源プラスチックを処理する中間処理施設を平成24年4月の稼動開始に向け整備します。

自然エネルギー及び省エネルギー機器利用促進 レベルアップ
3,109万円
区内で排出されるCO_2を削減するため、自然エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を拡大します。

自動車公害対策等啓発 レベルアップ
250万円
アイドリングストップの啓発を推進するために、庁有車に後付アイドリングストップ装置を設置します。

環境計画等推進 レベルアップ
1,392万円
区民・事業者・区が協働して、地球温暖化対策に取り組むために、「地球温暖化対策推進協議会」を設置します。

❷災害に強いまちづくり

防災士資格取得支援 臨時（新規）
183万円
地域の防災リーダーを育成するため、防災士研修講座、資格試験等の経費を助成します。

虎ノ門三丁目災害対策住宅等取得 臨時（新規）
3億5,570万円
旧愛宕敬老館の土地とその隣地に建設される建物の一部を災害対策住宅等として取得します。

防災街づくり整備指針改定 臨時（継続）
828万円
災害に強い街づくりの実現に向け、パブリックコメントを実施するとともに、実現目標や方針を定めた防災街づくり整備指針を改定します。

シティハイツ芝浦建替（障害者ケアホーム併設） 臨時（継続）
1億1,772万円
安心して居住できる住まいと障害者ケアホームの整備をするため、建替えの基本設計および実施設計を行います。

シティハイツ六本木建替構想検討 臨時（継続）
2,102万円
安心して居住できる住まいと住環境の整備をするため、建替えに向けた検討を行います。

夕凪橋架替 臨時（継続）
1億4,903万円
老朽化した夕凪橋の架替工事として下部工の施工を行います。

高輪橋架道橋下区道整備 臨時（継続）
8,300万円
天井が低く、幅員が狭いなど通行環境や日常管理に課題のある高輪方面と港南方面を結ぶ高輪橋架道橋下区道の再整備に向け、東海道新幹線への影響解析や、工事方法の調査検討を行います。

業務継続計画（BCP）の検証 臨時（継続）
1,275万円
平成21年度に策定した「港区業務継続計画（震災編）・

(新型インフルエンザ編)」について総合防災訓練やインフルエンザ対応訓練による検証を実施し、計画の改定を行います。

防災会資器材助成 レベルアップ
2,533万円
防災資器材の最終助成後15年を経過した防災会に対して、助成品目リストの中から選択する方式で資器材の助成を行います。

❸快適な暮らしを支えるまちづくり

景観重要建造物の指定 新規
205万円
景観上重要な建造物を指定し、地域の個性ある景観づくりの核として、維持、保全および継承を図るため、建造物の調査および補修経費への支援について検討を行います。

新橋駅周辺地区の街づくり 臨時(新規)
446万円
新橋駅周辺の街づくりや駅街路2号(柳通り)の整備に伴う街づくりの一体的な整備方策を検討するため、基礎調査を行います。

田町駅西口暫定自転車等駐車場整備 臨時(新規)
616万円
田町駅西口周辺地域の歩道を安全な空間として確保するため、暫定自転車等駐車場を整備し、駅周辺を自転車放置禁止区域として定めます。

旧国立保健医療科学院を活用した施設整備 臨時(新規)
947万円
旧国立保健医療科学院の建物等を活用した、在宅緩和ケア支援施設、新郷土資料館等の整備に向けて、改修の基本構想および基本計画を策定します。

芝五丁目用地取得 臨時(新規)
11億6,000万円
(仮称)産業振興センター等の用地として、芝五丁目用地(旧港都税事務所・旧三田警察署跡地)を取得するため、旧三河台中学校用地との交換を行います。

田町駅西口・札の辻交差点周辺の街づくり 臨時(継続)
436万円
田町駅西口・札の辻交差点周辺の公有地等を活用し、地域の課題に対応したまちづくりに取り組むため、調査・検討を行い、整備構想を策定します。

建築物の高さに関する指定方針策定 臨時(継続)
1,122万円
区における新たな建築物の高さのあり方について、平成22年度に実施した建築物現況調査を踏まえ、指定方針や指定基準を含めた「建築物の高さの基本的な考え方」を策定します。

都市計画公園整備 臨時(継続)
7億4,870万円
緑化による都市環境の向上を図るとともに、広いオープンスペースを利用した防災拠点および区民が憩えるレクリエーションの場として、都市計画公園を整備します。

公園整備 臨時(継続)
789万円
区民の憩いや緑の拠点として、地域と調和のとれた公園となるよう高輪森の公園の実施設計を行います。

景観形成特別地区屋外広告物適正化支援 臨時(継続)
5,664万円
「東京都景観計画」で指定された「水辺景観形成特別地区」および「文化財庭園等景観形成特別地区」に設置されている不適正な屋外広告物を撤去・改修するための経費の一部を補助します。

田町駅東口北地区公共公益施設整備 臨時(継続)
35億1,313万円
既存区有施設の老朽化や芝浦港南地区の人口の急増による施設利用者の増加、多様化する施設需要に対応するため、田町駅東口北地区の公共公益施設の建設工事を行います。

マンション管理・修繕等支援 レベルアップ
2,737万円
マンションの管理・修繕等に係るセミナーや住宅の専門相談を実施するとともに、新たに日常管理の問題等を解決するため管理アドバイザーの派遣を行います。

3 都心の魅力と活力があふれるまち

❶地域経済の活性化

小規模企業事業承継支援 新規
4,600万円
区内で同一の事業を20年以上営んでいる小規模企業者を対象に、経営基盤を強化し円滑な事業承継を推進するため、設備更新等に係る経費の一部を補助します。

歴史観光資源の活用・促進 臨時(新規)
572万円
大河ドラマ「江～姫たちの戦国」の主役である「江」の墓所が港区にあることを契機として、観光客誘致のための事業を実施するとともに、港区観光協会が実施する事業を支援します。

商店街周辺市場志向調査 臨時(新規)
1,049万円
商店街の活性化や継続的なにぎわいの創出に向け、商店街の「マーケットニーズ」を把握し、魅力あふれる商店街の育成に活用するため、商店街市場志向調査を実施します。

マーケティング戦略支援セミナー 臨時(継続)
179万円
中小企業の業績不振を打開するための企業戦略や競争力の向上、経営基盤の強化を図るセミナーを開催して、区内中小企業の経営改善を支援します。

融資事業 臨時(継続)
21億7,235万円
国の景気対応緊急保証制度の終了により現行の緊急支援融資の対象外となる企業を対象に、新たな融資の創設および小口零細保証融資の拡充を図ることにより、業況が悪化している中小企業の資金繰りを支援します。

ビジネス展示会・交流会 臨時(継続)
847万円
緊急不況対策として、東京都が主催する産業見本市「産業交流展」へ出展参加する中小企業への支援を実施します。

港区観光振興ビジョン策定 臨時(継続)
602万円
港区観光振興ビジョン検討委員会を開催し、新たな港区観光振興ビジョンを策定します。

就職面接会参加企業採用助成 臨時(継続)
80万円
緊急不況対策として、区がハローワークおよび東京商工会議所港支部と共催する就職面接会で人材を採用した区内中小企業に対し、研修等の人材育成経費を助成します。

❷参画と協働により地域の特性を生かしたまちづくり

芝地区総合支所地域事業
5,906万円
▶芝地区歴史・文化の発信【新規】 441万円
旧町名の保存･伝承に向けて旧町名由来板を設置します。
▶芝地区福祉カレンダー作成 112万円
▶芝地区区立芝公園にぎわい推進 700万円
▶芝地区帰宅支援マップ作成 393万円
▶芝地区の地域性にあった災害対策 132万円
▶芝地区やさしいまちなか 192万円
▶芝地区地域ルールづくりの推進 54万円
▶芝地区昭和の地域力再発見 1,550万円
▶芝地区環境と平和を考え地域の交流を深める事業 592万円
▶芝地区魅力発信 539万円
▶芝地区バス停を起点とした散策マップの設置 740万円
▶芝地区子どものふるさと心の風景記録事業 462万円

麻布地区総合支所地域事業
4,520万円
▶麻布地区コミュニティ形成 10万円
▶麻布地区麻布フェスタ 741万円
▶麻布地区子ども芸術ふれあい事業 264万円
▶麻布地区おもちゃライブラリー 58万円
▶麻布地区施設情報紙の発行 543万円
▶麻布地区災害時セーフティネット構築事業 631万円
▶麻布地区安全・安心に特化した公園づくり 300万円
▶麻布地区飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業 50万円
▶麻布地区麻布未来写真館 695万円
▶麻布地区麻布ものしり認定制度 704万円
▶麻布地区国際協働事業 523万円

赤坂地区総合支所地域事業
5,517万円
▶赤坂地区区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備 795万円
▶赤坂地区企業等連携防災行動計画支援 994万円
▶赤坂地区減らそう CO_2 ～赤坂・青山～ 77万円
▶赤坂地区氷川山車復興支援 167万円
▶赤坂地区講談を活用した地域情報の発信 130万円
▶赤坂地区赤坂・青山子ども中高生共育事業 991万円
▶赤坂地区赤坂・青山歴史、文化、芸術のまちづくり 2,364万円

高輪地区総合支所地域事業
4,786万円
▶高輪地区施設間等地域交流 241万円
▶高輪地区ウッディランドたかなわ 464万円
▶高輪地区メールによる区民意向調査 175万円
▶高輪地区さくらリバース高輪 178万円
▶高輪地区ハイブリッド発電灯ほかの設置 2,111万円
▶高輪地区高輪みどりのプロジェクト 450万円
▶高輪地区高輪かがやき百景 251万円
▶高輪地区電子掲示板「たかなわ瓦版」 271万円
▶高輪地区寺町コミュニティ 162万円
▶高輪地区白金高輪グリーンミュージックフェスティバル 483万円

芝浦港南地区総合支所地域事業
4,780万円
▶芝浦港南地区歴史と文化の継承 95万円
▶芝浦港南地区運河・水辺の魅力アップ 630万円
▶芝浦港南地区憩いの水辺空間創出 457万円
▶芝浦港南地区みどりがつなぐ交流事業 380万円
▶芝浦港南地区ベイエリアブランドの創出 326万円
▶芝浦港南地区水辺フェスタ 662万円
▶芝浦港南地区地区の政策形成プロジェクト 307万円
▶芝浦港南地区地域の課題解決プロジェクト 84万円
▶芝浦港南地区秋田県にかほ市交流事業 374万円
▶芝浦港南地区住民交流促進事業 423万円
▶芝浦港南地区安心お散歩コースの設置 118万円
▶芝浦港南地区子育てあんしんプロジェクト 925万円

港南地域多目的集会室運営 新規
512万円
中日新聞社が設置した地域貢献施設を借用し、区民協働スペースとして開設します。

旧飯倉小学校跡地活用施設整備 臨時(新規)
2億5,442万円
旧飯倉小学校の校舎を区民協働スペースおよび暫定学童クラブとして有効活用するため、校舎改修の実施設計および改修工事を行います。

台場の新規地域交通の運行 臨時(新規)
3,993万円
台場地域から芝浦および港南地域にある公共公益施設等への利便性の向上を図るため、民間企業と住民の協力による新たな交通手段(シャトルバス)を導入します。

新橋六丁目公共施設建設 臨時(継続)
2,769万円
新橋福祉会館・児童館の跡地に、子育て支援施設等を整備します。

高輪地区総合支所エレベーター増設 臨時(継続)
1億7,287万円
高輪子ども中高生プラザの開設にあわせて、高輪コミュニティーぷらざ内にエレベーターを1基増設します。

港区基本計画（地区版計画書）改定 臨時(継続)
3,380万円
平成22年度から検討を行っている区民参画組織からの提言を踏まえ、港区基本計画(地区版計画書)(平成21年度～26年度)の後期3年の見直しを行います。

港区基本計画改定 臨時(継続)
2,507万円
平成22年度から検討を行っている「みなとタウンフォーラム」からの提言を踏まえ、港区基本計画(平成21年度～26年度)の後期3年の見直しを行います。

❸多様な文化やスポーツにふれあう環境の創出

図書館基本計画等改定 臨時(新規)
963万円
区立図書館のサービス拡充や子どもの読書活動推進のための具体的方策を示す図書館基本計画および子ども読書活動推進計画を改定します。

スポーツ振興計画策定 臨時(継続)
598万円
区立運動施設の整備・活用、地域スポーツ支援および区民の体力向上など、区のスポーツ振興施策を体系的にとりまとめたスポーツ振興計画を策定します。

国民体育大会の準備 臨時(継続)
574万円
平成25年開催の第68回国民体育大会(東京国体)における「なぎなた競技」の開催のため、(仮称)東京国体港区実行委員会を設立し、運営等の準備作業を実施します。

麻布図書館等改築 臨時(継続)
4億2,565万円
老朽化した麻布図書館等の実施設計および建設工事を行います。

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この広報紙は、古紙を利用した再生紙を使用しています。